

麻酔科

(スタッフ)

部長 : 宇野 太啓
 副部長 : 油布 克巳
 : 木田 景子
 : 西田 太一
 : 小崎 智史 (4月から)
 主任医師 : 池邊 朱音 (3月まで)
 嘱託医 : 渡邊 恭平 (4月から)
 : 田口 美也子 (5月から)
 : 小崎 智史 (2月から3月まで)
 : 深野 菜摘 (4月まで)
 専攻医 : 宮越 真由 (5月から)

(診療実績)

2023年の麻酔科管理症例数は2,715件で、前年の2,684件より31件の増加となりました(図)。

麻酔科管理症例の内訳は、全身麻酔2,705例、全麻下電気痙攣療法7例、脊硬麻0例、脊麻2例でした。麻酔法の内訳は表1のとおりです。麻酔科管理症例のうち予定手術(締め切り後も含む)は2,392例、緊急手術は323例でした。緊急手術の全身麻酔科管理症例に占める割合は前年(11.9%)より増加して13.5%となっています。

特殊手術については、心・血管手術が98例(前年51例)、新生児手術13例(同20例)、食道がん手術14例(同12例)、脳外科手術55例(同54例)、脊椎手術45例(同49例)、胸腔・縦隔手術166例(同158例)でした。人工心肺を用いたものは55例(前年27例)、分離肺換気を行ったものは162例(同153例)でした。2023年も精神科の電気痙攣療法はあまり行われず、2023年は延べ7例(同31例)でした。表2に麻酔科管理症例の重症度別内訳を示します。ASA-PS3以上の重症例は18.9%であり、前年より多くなっています。

ICU管理に関してはICU部の年報(P.78)で示します。

ペインクリニックに関しては、外来診療は行っていませんが、院内での疼痛管理の相談には応じています。

(今後の方向性)

2023年は4月から麻酔科専門医4人、標榜医1人体制になりましたが、当直明けは半日休にしています。5月から標榜医が週3日勤務しています。12月

に1人標榜医の資格が取れました。2023年も週2回火・金曜日に大学病院から麻酔の応援を受けています。

重篤な合併症のある患者でも、注意深い麻酔管理とICUでの術後管理で無事手術を完遂させて、患者に信頼される病院になるよう貢献します。

外科系の各科が予定手術はもちろん、緊急手術もストレスなく行えるような環境を整えます。

救急救命士の挿管実習病院として大分の救急のレベルアップに貢献します。

多くの研修医に麻酔科の仕事に興味をもってもらい、専門研修に麻酔科が選ばれるように努力します。

(文責：宇野太啓)

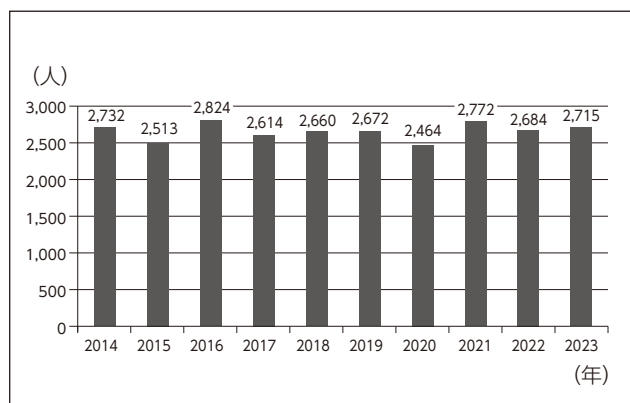


図 麻酔科管理件数の推移

表1 麻酔法内訳 (単位：件)

麻酔法	2022年	2023年
全身麻酔(吸入)	1,797	1,933
全身麻酔(TIVA)	120	106
全身麻酔(吸入)+硬・脊、伝麻	589	632
全身麻酔(TIVA)+硬・脊、伝麻	143	34
脊椎・硬膜外併用麻酔(CSEA)	1	0
硬膜外麻酔	0	0
脊椎麻酔	3	2
その他(電気痙攣療法の鎮静など)	31	8
計	2,684	2,715

表2 重症度別麻酔科管理症例 (単位：件)

ASA-PS	1	2	3	4	5	6
予定	577	1,446	364	5	0	0
緊急	54	124	132	10	3	0
計	631	1,570	496	15	3	0